

琉球大学学術リポジトリ

Development of the 12-item questionnaire for quantitative assessment of depressive mixed state (DMX-12)

メタデータ	言語: 出版者: University of the Ryukyus 公開日: 2020-09-14 キーワード (Ja): キーワード (En): major depressive episode, depressive mixed state, spontaneous instability, vulnerable responsiveness, disruptive emotion/behavior 作成者: Shinzato, Hotaka, 新里, 輔鷹 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/46666


(別紙様式第3号)

論 文 要 旨

論 文 題 目

Development of the 12-item questionnaire for quantitative assessment of depressive mixed state (DMX-12)

(抑うつ性混合状態の定量評価に向けた12項目の自記式評価票の開発))

氏名 新里輔鷹 

【はじめに】

うつ病の症候は、一般的に、気分の低迷、

思考の渋滞、活動性の減衰として定義される

が、実臨床では、気分・思考・行動が必ずしも一致せず、一部が亢進し他が抑制される「

抑うつ性混合状態 (depressive mixed state: DMX)」が散見

される。その際、気分は不機嫌・焦燥を呈し、

思考は攻撃・衝動性を孕み、行動面では自傷

・自殺リスクが高まるため、速やかな臨床像

把握と危機管理が肝要となる。本病態は、操作

性診断基準の DSM-5 において、特定子として

の「混合性の特徴 (mixed features: MF)」と定義される

が、混合成分には定型的な躁 / 軽躁症状のみを採

用し、頻度の高い転導性、易怒性、焦燥を躁・うつ

両病相に重複する非特異症状として除外したため、

MFの診断頻度は数%に留まっている。一方、

Benazzi が提唱した「混合性うつ病 (mixed depression: MD)」では、

臨床上遭遇しやすい転導性、易怒性、焦燥を混合症

状として取り入れたため、約 1/3 の患者が MD の基

準に

論文要旨

該	当	し	た	が	、	こ	の	よ	う	に	診	断	基	準	の	違	い	で	
DMX	の	頻	度	が	大	幅	に	変	動	す	る	点	が	大	き	な	問	題	
で	あ	る	。	ま	た	、	DMX	を	有	す	る	患	者	は	そ	の	内	面	
の	変	化	を	自	発	的	に	言	語	化	す	る	こ	と	が	難	し	い	た
め	、	DMX	の	過	少	診	断	や	誤	診	に	も	つ	な	が	り	や	す	
い	。	そ	こ	で	、	我	々	は	、	DMX	症	候	の	定	量	評	価	に	
基	づ	く	評	価	票	の	開	発	を	行	い	、	こ	れ	ら	を	用	い	て
DMX	の	頻	度	や	重	症	度	の	実	態	の	解	明	を	行	っ	た	。	
【	方	法	】																
2014.6	～	2018.6	に	う	つ	病	エ	ピ	ソ	ー	ド	で	当	科	を	連			
続	受	診	し	た	154	名	を	対	象	と	し	た	。	DMX	の	評	価	に	
は	、	頻	度	の	高	い	非	特	異	的	症	候	12	項	目	か	ら	な	る
自	記	式	評	価	票	(DMX-12)	を	作	成	し	て	用	い	た	。	う	つ		
病	重	症	度	は	Quick Inventory of Depressive Symptomatology Self-Report														
Japanese version	(QIDZ-SR-J)	、	生	活	機	能	は	Global Assessment of									
Functioning	(GAF)	で	評	価	し	た	。	DMX-12	の	因	子	構	造				
を	探	索	的	に	解	析	し	、	DMX	総	得	点	や	下	位	項	目	に	
与	え	る	背	景	因	子	の	影	響	に	つ	い	て	重	回	帰	分	析	を
行	い	、	MD	や	MF	の	従	来	診	断	と	DMX-12	の	総	得	点	・		
因	子	得	点	と	の	関	連	を	Mann-Whitney U-test	に	て	検	討	し	た	。			

論文要旨

【 結 果 】																				
探 索 的 因 子 分 析 に よ り 、 内 発 的 な 不 安 定 さ																				
(Cronbach's $\alpha = .868$)、 脆 弱 な 応 答 性 (0.826)、 破 壊 的 感 情																				
/ 行 動 (.769) か ら 成 る 3 因 子 構 造 が 抽 出 さ れ た 。																				
重 回 帰 分 析 に お い て は 、 DMX-12 の 総 得 点 や 各 因																				
子 得 点 は QIDZ-SR-J と 正 相 関 し 、 年 齢 と は 逆 相 関																				
し た 。 ま た 、 双 極 性 障 害 で は 、 DMX-12 の 総 得 点																				
と 破 壊 的 感 情 / 行 動 の 因 子 得 点 が 高 か っ た 。																				
154 名 中 28 名 が MD 、 7 名 が MF で あ っ た 。 MD 群 で																				
は DMX-12 の 総 得 点 と 全 下 位 項 目 の 得 点 が 有 意 に																				
高 く 、 MF 群 で は 破 壊 的 感 情 / 行 動 の 因 子 得 点																				
の み が 有 意 に 高 か っ た 。																				
【 結 論 】																				
DMX-12 に よ る 定 量 的 な 症 候 評 価 は 、 従 来 の MD																				
・ MF の カ テ ゴ リ カ ル 診 断 と も よ く 符 合 し た 。																				
今 回 の 結 果 よ り 、 双 極 性 を 秘 め る 重 度 う つ 病																				
エ ピ ソ ー ド の 若 年 患 者 で は 、 DMX の リ ス ク に																				
十 分 注 意 を 払 う べ き と 考 え ら れ た 。 破 壊 的 感																				
情 / 行 動 の 因 子 得 点 は 、 DMX を 識 別 す る 指 標																				
と し て 有 用 で あ る 可 能 性 が 示 唆 さ れ た 。																				